

答弁指定事項進捗状況調書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	R3.9.16
開催日	R3.9.14	議案名等		認定第1号 令和2年度福島町一般会計歳入歳出決算認定について 【定住促進住宅等奨励事業費】	
会議名	決算審査特別委員会				
質問要旨		<p>定住促進住宅等奨励事業の実績については、今年はあるとしても昨年度の状況を見ると何らかの対策を考えていかなければならないと思う。</p> <p>定住をするために他から移住、息子なり誰かが入ってくると言っても、自分の新しい家を持つまでにはある程度、生活の基盤が出来るまで親などと一緒に暮らすと思うが、その状況の中でやはり親としても子供としても、今までの家を多少直していくようなことも必要になってきているのが現状で、そういった所から定住が進んでいくと思っている。新しい家だけ作るのが定住ではなく、そういう面でも町としてフォローして行くべきではないかと思う。定住だけでなく改築改修等に対して、改めて何らかの助成的な対応が出来ないか、考えをお聞きしたい。</p>			
答弁要旨 (答弁者：鳴海町長)		<p>一度都会に出た方が年を重ねると故郷への思いが強くなり、そういった時に福島に仕事が見つかって、地元に戻って親と一緒に住むという方も結構おります。家を建てるまではいかないが一緒に二世帯で住むには、手狭だ等の声も相当聞いており、そういった所に少し町として支援があれば有難いという声も頂いている。</p> <p>今の制度も一定程度、町民には認知されてきたなかで、今、三岳・新栄町地区の方で定住の住宅を建設していくが、もう少し選択肢の幅を皆さんに広げるのは問題無いのかなという気がしていますし、議会の方からも意見いただいておりますので、是非、新たなプラスになるようなものを検討していきたいと思っております。</p> <p>ただ、色々な状況の中で、これから組み立てていくので、すぐという話にはならないと考えるが、色々な意見を加味し、更に定住が深まるようなことを制度として加えていければと思っております。</p>			
対応・進捗状況		対応済み (平成 年 月 日)	対応中		実施不可
取り組み状況		<p>■令和3年11月29日 現在</p> <p>定住促進住宅等奨励事業については、一定の要件の下、定住を目的とした新築住宅の建設や中古住宅の購入を奨励金の対象としているところではありますが、住宅の改築・改修等については奨励金の対象としていません。</p> <p>住宅の改築・改修については、単に住宅の不具合を解消するための場合も想定されることから、そうした場合と転入された方などが定住目的で改築・改修する場合やこれまで住み続けていた方が今後も定住するために改築・改修する場合を明確に区分し、これらの定住を目的とした改築・改修を奨励金の対象とできるように制度改正に向けて検討を進めてまいります。</p>			
調査を終了する本会議		令和5年度定例会12月会議			
その他参考事項		追跡内容は上記の1項目としました。			